

特集

札幌国際芸術祭 2014 in 北区



屯田アートパーク（平成26年8月10日、屯田西公園サクラの広場）

北☆ガク アートフェスティバル

～学生 × アートでまちづくり～

北区市民部地域振興課

札幌初の国際芸術祭が開催された平成26年度に地域振興課では同芸術祭を盛り上げるとともに、区民一人ひとりのアートへの関心を高めようと「北☆ガク アートフェスティバル」を開催しました。

このイベントでは、今まで区の事業に参加することが少なかった若い世代の参加を進めるため、大学生と月一度会議を行いながら事業の企画を行いました。集まってくれた大学生は市内の大学に通う約20名。この大学生を「音楽」「美術」「職業・IT」の3つのチームに分け、それぞれ「どんな企画を行いたいか」「どうやったら上手くいくか」について考え、話し合ってもらうことで、一緒にイベントを作っていました。

ここからは、各分科会のリーダーとして参加した学生から当日の様子や感想を紹介します。



月に一度の会議の様子。このほか、各分科会で適宜集まって当日まで打合せを重ねました。

【音楽分科会リーダー・深堀 航祐さん】

平成26年5月某日、北区役所内のある奥まった会議室に足を踏み入れた私は、音楽の視点から企画する音楽分科会に所属することとなった。

後日会議を開き仲間と知恵を出し合うものの、想像以上に難しい。しかし、リーダーとしての務めを果たすべく奮起して、市内の大学のアカペラ部などに声をかけ、観客も参加できるようなライブ形式を検討した。各大学に人脈がある人物が直

接出演交渉を行い、私もあるアカペラ部の部長に出演を打診し内諾までいただいた。初めはすこぶる順調であり、分科会の電子連絡板には「出演内諾」の4文字が躍った。

ところが先行きが不透明になっていく。折悪くも各大学が夏期休業に入ってしまったのだ。詳細の連絡を取るにも、返信は途絶、やっと返ってきたと安堵すれば事情が変わり出演辞退の知らせであることもままあった。分科会の仲間も就職活動や実習などに追われ、集まることすら厳しくなっていた。急減した出演者に代えて別の出し物を設定する案も出たが、同じく連絡がつかないか承諾を得られない。人脈も力尽き、息も絶え絶えの私たち。それでも最後まで粘り続け、地域振興課の方のご助言もあり、タイムテーブルの空白は埋まっていった。

こうしてステージを彩るアーティストは揃った。迫力のダンスや書道アートなどに舞台袖にいた私たちも観入ってしまっていた。

紆余曲折を経てステージは整ったが、私たちは自分たちの力不足を痛感した。しかし他大学の方との協働は非常に有意義なものであり、また若者の力が必要なお呼びいただけたら幸いである。



札幌国際大学のチアリーディング部



北高書道部のパフォーマンス

【美術分科会リーダー・熊谷 梓さん】

初めにこのお話をいただいた際、自分以外同じ大学の学生がいなくて他の大学の人たちとやっていけるのかな、と少し不安に感じていました。美

術の代表をやらせていただきましたが、企画に入っても普段学んでいることや考えていること、年齢もバラバラで、上手くまとめられるのか、成功させられるのかとても不安がありました。学校や学年も異なり、おのおのの都合などで顔を合わせることが少ないなか、お互いの進行状況やアイデアを出し合うなど、連絡を取り合いながら各自準備を進めていきました。

私は切り絵のコーナーを担当したのですが、実際に来ていただいた方に作ってもらうための説明がすごく難しかったです。自分がわかっていることが相手も知っているわけではないので、どう話せば伝わるのか考えながら動かしていました。

今回の企画で、接点が全くない他大学の学生たちとかかわりが持てたことがとてもうれしかったです。企画に携わり実際に企画に参加していただいた団体の方々の中には、活動やそれに触れる機会が全くなかったところもあり、新しい発見ができました。とても貴重な経験になったこと、一緒に美術の企画をしてくれた学生、参加していただいた団体の方々にはとても感謝しています。



バルーンアート体験コーナー モザイク写真も作りました！

【職業・IT分科会リーダー・浅井 俊行さん】

私は、北大グルメ Expo を運営している関係で北☆ガクアートフェスティバルに参加させていただくことになりました。北大グルメ Expo は電子スタンプラリーを使ったITによる地域活性化イベントです。

今回は職業の分野を担当することになり、職業(IT)とアートとの関係性を今一度考えるきっかけになりました。ITという分野では表現力が問われず。パソコンなどの画面上でしか相手に伝えられないので、内容をいかにして相手に伝えるのか、そこにアートの力が必要だと感じました。

当日は、ウェブデザインの仕事体験としてホームページを作っていただきました。小学生から高

校生までのお客様に来ていただきました。初めてパソコンに触れる方もおられ、キーボードを叩くと文字が画面に表示されることにも喜んでいただきました。

今回は、小学生にパソコンに触れる機会が作れたこと、中学生以上には、自分の思ったことをホームページとして表現してもらうことができ、IT分野に少しでも興味を持ってもらえたかなと思っています。



ウェブデザインの仕事体験

また、メンバーの成長も見られました。最終的にホームページを作るためのHTMLという記述方法の基礎をマスターし、自ら当日のタイムスケジュールを作成するメンバーがでるほどです。

一般の方にはまだまだITやプログラミングが身近ではないですが、このような機会がまた行われ、少しでもITに興味を持っていただければ幸いです。

当日は、これまで紹介してきた内容以外にも、ミュージシャンによるコンサートやさまざまな職業を紹介する講演、カフェブースなど、書ききれないほどたくさんのお出演・お出展がありました。

北区としては、これからも学生間の交流を促進し、まちづくり活動参加のきっかけとなるような事業の実施を検討していきたいと考えています。

○お問い合わせ
 北区市民部地域振興課
 まちづくり調整担当係
 TEL.011-757-2407

さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭 2014

環境局みどりの推進部みどりの推進課

札幌市では、市民、企業とともに進めるみどり豊かなまちづくりの一環として、昭和42年から公園造成予定地などで市民植樹祭を開催しています。(平成18年からは「さっぽろふるさとの森づくり植樹祭」の名称で開催)

子どもから大人まで多様な世代が参加して森づくりに取り組み、これまでの48年間で延べ20,000人の参加のもと100,000本の樹木を植樹してきました。

平成26年度は、9月24日(水)北区茨戸川緑地で、札幌国際芸術祭2014の特別連携事業としての開催となり、植樹本数も10,000本、参加人数も1,400名の規模で行いました。

北区内からは、拓北・あいの里連合町内会長をはじめ地元の方々や新川保育園、新琴似保育園、あいの里西小学校をはじめ11の小学校が参加しました。式典の中では、子供たちによる植樹へのメッセージの読み上げを行いました。



市長挨拶

また、芸術祭ゲストディレクターである坂本龍一氏のメッセージが坂本氏が代表理事を務める一般社団法人 more treesの水谷氏によって代読されました。

【古来より森を失った文明は、必ず滅んできました。今、世界中から急速に森が失われているのを見て、背筋の凍るような恐ろしさを感じます。たくさんの生命の住処であり、CO₂を吸収し、水を保存し、また人間に大きな恵みをもたらしてくれる森を再生しなければ、私たちの未来はないでしょう。私たちの未来は子供たちの肩にかかっています。札幌の子供たちが豊かに成長できますように、木々が子供たちと一緒に豊かに成長できますように、という願いをこめてこの「植樹祭・育樹祭」を提案しました。子供たちや木々が豊かに成長できないような環境には、真の成長はないからです。「札幌国際芸術祭」の真の目的も、札幌とそこに住む人々が、真に豊かになることだからです。坂本龍一】



メッセージ読み上げの様子

※各小学校2名、各保育園2名が「大きくて丈夫に育ってほしいです。そして将来、札幌に緑で綺麗な森林が増えて欲しいと思います。」などそれぞれのメッセージを読み上げました。



植樹完了
カミネッコン
7個植え

植樹の様子

カミネッコンに入った苗木を植樹

※ カミネッコン：再生ダンボール紙で作成した紙のポット、数年後には土に還る。

※ カミネッコンは子供たちが作成し、メッセージを書いたポストカード（木のポストカード）を添えました。

今回、特別連携事業を契機に初めて育樹祭を同時開催しました。



育樹の様子

※ 混み合った枝や下枝を切って整える。密集して育てない樹木の間引きをする。

※ 初めてのノコギリ、初めての剪定作業です。

育樹祭では、ノコギリを使用して樹木が密集しているところの間引きや下枝を剪定しました。

初めての育樹作業（剪定・間引き）でしたが、子どもたちにとってノコギリを使って木の枝を剪定することは、とても楽しい作業だったようです。じゃんけんで順番を決めて、予想以上にたくさんの木の剪定をしました。

さっぽろふるさとの森づくり植樹祭・育樹祭では、これからも皆さんと協力して、沢山の樹木を植え、育てていきます。

平成27年度も9月に北区茨戸川緑地で開催する予定です。ぜひご参加ください。

○お問い合わせ

環境局みどりの推進部みどりの推進課

TEL.011-211-2522

絆広がる百合が原公園

北区市民部地域振興課

【フラワーパーク百合が原公園の魅力】

百合が原公園は、北区唯一の総合公園で、約6,400種類もの花や緑が育てられています。温室施設を備えたこの公園は、四季折々の花を1年中楽しむことができる、札幌市のフラワーパークです。

昭和61年には「'86 さっぽろ花と緑の博覧会」が開催され、約147万人の来場を記録しました。かつてこの地が牧場だった歴史を後世に伝えるために保存されていたサイロは、この博覧会を機に公園を360度見渡すことができる展望台として生まれ変わりました。

そして、百合が原公園の魅力伝える上で忘れてはならないのが、大人にも子どもにも大人気のリリートレインです。公園を12分かけて一周するリリートレインは、旧国鉄の軌道を再利用して作られ、車両の作りも本物の鉄道と同じものであるため、ノスタルジックな気分を味わうことができます。

余談になりますが、ベテラン車掌によるわかりやすい小粋なトークがリリートレインの魅力の一翼を担っていると思っています。皆さんも、百合が原公園を訪れた際には、是非乗ってみてください。



【百合が原公園を区民交流の場に】

前述のようなフラワーパークとしての魅力を誇る百合が原公園を区民交流の場としようとする取組が平成25年から始まりました。

百合が原公園の指定管理者である札幌市公園緑化協会が、これまで単独主催で開催していた「ミモザコンサート」を、平成25年3月に北区との共催で初めて行ったことがきっかけです。

こうして始まった事業が「百合が原音楽祭」です。開催時期は、公園の名前の一部となっている「百合」が見頃の6月とし、芝生の上で行う青空コンサートとしました。

北区では、この「百合が原音楽祭」を、ただの音楽祭ではなく、区民に発表の場を創出することができ、かつ若い世代がまちづくり活動に参加するきっかけとなるイベントとなるよう企画しました。

現在、高齢化や担い手不足により、まちづくり活動の継続が難しくなっている地域があり、問題となっています。

一方で、「まちづくり活動に参加するきっかけがない」、「まちづくり活動に関する情報が無い」と

いったことから、まちづくり活動に参加したいという気持ちがある若者が、まちづくり活動にあまり参加できていないという現状があります。

そこで、中学生に出演いただくことで、当日出演する中学生を見に来る親世代の参加を促し、まちづくり活動にあまり参加が見られない、30代～40代の世代を音楽祭に呼び込むことに成功しました。



さらに、高校、大学の吹奏楽部や北海道警察音楽隊などにも出演をお願いし、年齢層に厚みを持たせました。



また、大学生には楽器運搬等のボランティアをお願いし、音楽祭の当日運営に関わっていることで、若い世代がまちづくり活動に関わるきっかけづくりができたと思います。

【百合が原音楽祭の成功を糧に】

平成25年度の第1回「百合が原音楽祭」は、2日間にわたり開催され、両日合わせて1,000人もの区民に会場に参拝していただきました。平成26年度の第2回「百合が原音楽祭」は、知名度が上がったからか、開催期間を2日から1日へ縮小したにも関わらず、前年を上回る1,500人の来場がありました。

札幌市公園緑化協会のアンケートでは、「百合が原音楽祭」について、高い評価をいただき、「青空の下楽しく聞けた」、「学生と地域が交流しているのが素晴らしい」、「毎年開催してほしい」などのお声が寄せられました。

また、当日運営のボランティアをした大学生を集めて意見交換会を行い、単なる「お手伝い」としてではなく、まちづくり活動の担い手として、大学生ボランティアの意識を高めることができたと思います。

百合が原音楽祭が大成功を収めたことから、北区と札幌市公園緑化協会との共催で、秋には「百合が原紅葉祭り」、冬には「ミモザコンサート」を百合が原公園において開催し、どちらも大盛況でした。これらの成功を重ねたことにより、百合が原公園での年3回のイベントは毎年恒例として地域に認識され、百合が原公園に区民交流の場を根付かせることができたと思っています。



百合が原紅葉祭り



ミモザコンサート

今後も、百合が原公園での事業を継続するとともに、市民活動を促進し、区民交流の場を提供することで、幅広い世代がまちづくり活動に携わり、北区のまちづくり活動がより活発となっていくような事業を検討していきます。

○お問い合わせ

北区市民部地域振興課

まちづくり調整担当係

TEL.011-757-2407

コラム① 札幌国際芸術祭 2014 in 北区

札幌初の国際的なアートフェスティバル「札幌国際芸術祭 2014」が 2014 年 7 月 19 日(土) から 9 月 28 日(日) まで、72 日間にわたり開催されました。

開催テーマは「都市と自然」。これからの都市と自然の共生のあり方を考える国際芸術祭として、世界で活躍する現代アーティストたちが参加し、市内各所で展覧会やパフォーマンスなど、様々なプログラムが展開されました。

北区も清華亭が会場の一つとなったほか、多くの関連事業を行い同芸術祭を盛り上げました。このページでは、その中から主な関連事業をご紹介します。



■清華亭では・・・

開催期間中、清華亭では美術家の毛利悠子^{ゆうこ}さんが「サーカスの地中」というタイトルで作品の展示を行いました。

清華亭は明治 13 年に貴賓接待所として偕楽園内に建設された和洋折衷の建物で、現在も建築時と同じ場所にその姿をとどめています。

(札幌市指定有形文化財)



提供：創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会
photo:Keizo Kioku

【特別連携事業】

■さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭 2014

- ・平成 26 年 9 月 24 日(水)
- ・会場 茨戸川緑地

緑豊かなまちづくりを目指し、企業や団体から提供を受けた約 1 万本を市民とともに植樹しました。

このイベントの記事を掲載しています→P 17



【連携事業】

■百合が原公園フラワーアートパーク事業

- ・平成 26 年 4 月 15 日(火)～9 月 28 日(日)
- ・会場 百合が原公園

(公財)札幌市公園緑化協会が、芸術作家や植物愛好会、ボランティア、市民などとの協働により多様な植物の展示会を開催しました。

(写真は「春の花と水盤展」)



【創造都市さっぽろプログラム推進事業】

■みてきて!元気な北区食まち推進事業

・平成 26 年 6 月～12 月

・会場 北区役所周辺商店街など

手洗いの習慣化・意識を高めることを目的として、区内の小学生に「手洗い」の出前授業を行うとともに、「手洗い啓発ポスター」を作成してもらいました。入賞作品は、地元商店街で掲示するほか、札幌サンプラザで展示会を開催しました。



■百合が原音楽祭

・平成 26 年 6 月 28 日(土)

・会場 百合が原公園芝生広場

緑広がる百合が原公園芝生広場で、中学・高校・大学による吹奏楽・合唱などを中心とした音楽会を開催しました。



このイベントの記事を掲載しています→P 19

■きたっこシアター

・平成 26 年 7 月 29 日(火)(他2回開催)

・会場 幌北児童会館

「札幌国際短編映画祭」PR上映会として、子ども向けの作品を地域の子どもたちなどに楽しんでもらいながら、地域で活躍する住民組織やまちづくりセンターのことを知ってもらおうと、連合町内会やまちづくりセンターが協力して開催しました。

上映前にはパステルによるお絵かき教室も行われ、子どもたちは思い思いに色を用い、絵を描いて楽しみました。



■屯田アートパーク

・平成 26 年 8 月 10 日(日)

・会場 屯田西公園サクラの広場

地域住民の交流を深め、遊びを通してアートに触れてもらうと、みどりみらいプロジェクトグループと北区が主催しました。

会場ではハーブコーディネーターと地域住民による花壇作りや、バルーンアート、電子ピアノの演奏に合わせたフラワーアートのステージや北海道大学奇術研究会の学生によるマジックショーなど、華やかなパフォーマンスが行われました。



■麻生アートヴィレッジ

- ・平成 26 年 8 月 12 日(火)
- ・会場 麻生緑地・麻生総合センター
地域の子育て世代にアートに触れてもらおうと、北区役所が開催しました。

会場にはパステルやタブレットを使ったお絵かきコーナー、握ると固まる室内遊び用の砂で遊べるコーナーを設置し、普段は触れることのない道具やおもちゃに子どもたちは興味津々でした。屋外ではミニコンサートやマジックショー、ダンス教室なども行われ、参加者は元気いっぱいに体を動かしました。



■札幌市北区写真展

- ・平成 26 年 8 月 27 日(水)～9月 24 日(水)
- ・会場 篠路コミュニティセンター
北区の四季折々の風景や地域のまちづくり活動などを写真で紹介し、区の魅力を再発見してもらおうと開催しました。



■エルプラまつり(北区はイベント出展)

- ・平成 26 年 9 月 6 日(土)
- ・会場 札幌エルプラザ
国際芸術祭を盛り上げようと、エルプラザ公共4施設が例年行っている「エルプラまつり」に北区も参加しました。

木製ブロックや室内遊び用の砂で遊べるコーナーを設置したほか、来場者にはバルーンアートのプレゼントがありました。ステージではコンサートやダンスのほか、冬まつりのプロジェクションマッピングをミニチュア版で再現し、来場者の目を楽しませました。



■北☆ガクアートフェスティバル

- ・平成 26 年 9 月 27 日(土)～28 日(日)
- ・会場 札幌エルプラザ
アート活動で北区を活性化させようと、北区役所が大学生とともに企画してイベントを開催しました。「音楽」「美術」「職業」などをテーマに、さまざまなステージイベントや体験コーナーを設けました。



このイベントの記事を掲載しています→P 15

【お問い合わせ】 北区市民部地域振興課まちづくり調整担当係 757-2407